

平成27年9月18日 発行

第69号

宗本寺 派組信
真神門昭
淨山陰教区
發行者 藤野昭
TEL 0853②1628
FAX 0853②1601

神門組仏教壮年会連盟 結成三十周年記念大会



「記念式典」では、願楽寺住職の調声で讃仏偈をおつとめし、仏教壮年会連盟綱領を唱和の後、主催者を代表して本田和政実行委員長の挨拶、来賓の神門組組長藤野昭信師よりお祝いの言葉をいただき、最後に全員で声高らかに「仏教壮年の歌」を歌いました。

また、今大会の「記念法話」は、筑紫女子学園大学学長の大村英昭師（大阪教区大阪東組）が講師に迎え、「親鸞

二十日（海の日）、ラピタ・ウェディングパレスを会場に、『神門組仏教壮年会連盟結成三十周年記念大会並びに平成二十七年度連盟総会』を開催しました。当日は梅雨明けの猛暑日となりましたが、組連盟加盟十単位の会員二百五十余名の参加をいただきました。

「記念式典」では、願楽寺住職の調声で讃仏偈をおつとめし、仏教壮年会連盟綱領を唱和の後、主催者を代表して本田和政実行委員長の挨拶、来賓の神門組組長藤野昭信師よりお祝いの言葉をいただき、最後に全員で声高らかに「仏教壮年の歌」を歌いました。

また、今大会の「記念法話」は、筑紫女子学園大学学長の大村英昭師（大阪教区大阪東組）が講師に迎え、「親鸞

結成30周年記念大会を終えて

大会実行委員長 本田 和政
(組仏壯連盟理事長)

聖人に学んで心靈の行方を問う」と題したご法話をいただき余りの短い時間でしたが、インパクトのある講題で、皆さん熱心に聴聞されていました。休憩をはさみ連盟総会を行い、記念式典を終了しました。

大会終了後は、同会場で百二十四

この度、神門組仏教壮年会連盟の結成三十周年記念大会を開催できましたこと、大変有難く、嬉しく思います。私たち神門組仏教連盟が、こうして結成三十周年という節目を迎えることができましたのも、これまで熱心に活動してこられた各単位仏壯の皆様、歴代の理事長様、各寺住職様のお蔭と、深く感謝致しております。

さて、仏教壮年会連盟のスローガンは、「朋友の輪を広げたいのかがやく世界を」であります。このスローガンのもと、各単位会におかれましては、積極的な活動

が行われておりますが、残念ながら神門組内での仏壯結成寺院は未だ十ヶ寺です。今大会は組内全寺院にご案内致しました。これから仏壯を結成しようとされている寺院もあると伺っておりますので、一日も早く私たちと共に活動されることを望んでおります。

（大会事務局西円寺）

多忙の中、記念法話を引き受けいただきました筑紫女子学園大学学長大村英昭先生、参加いただきました二百五十余名の仏壯会員の皆様、組長様を始め、実行委員の皆様等、数多くの皆様のお力添えをいただき無事に終えることができましたことを厚くお礼申し上げます。



朋の社会を目指す徒推進員規場から協力に推進することが規定されたことの紹介がありました。そして「浄土真宗こそ」と題して、長楽寺住職で組長でもある藤野昭信師より記念講演がありました。

まず総会では、平成二十六年度の事業報告並びに決算報告・監査報告及び平成二十七年度の事業計画並びに予算案の審議がありました。全て理事会承認の事案であり事務局報告の通り承認されました。

去る四月十八日出雲市民会館において平成二十七年度の総会・研修会が、開催されました。その概要を報告させて頂きます。

門徒推進員連絡協議会 総会・研修会に出席して

乘光寺門徒推進員

藤井
健蔵

人生は苦しみが多い。腹が立つことも多く自分の思い通りにならないことが度々ある。しかし私たちの教えには、必ず救うとの仏様からの呼び声がある。この教えられた道・私が呼ばれている道を歩ませて頂く有難いお話をでした。

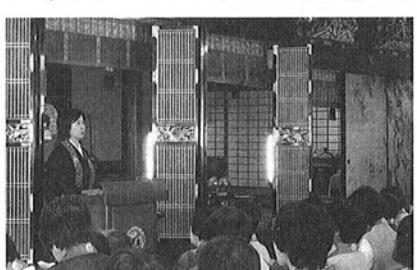
合掌

神門組仏教婦人会

明光仏教婦人会 会長 原 美知子

お陰様で当日は天気にも恵まれ、約百六十名の会員の方々にお出かけいただき、広い本堂も一杯になりました。沢山の皆様と一緒に御聴聞できることをとても嬉しく思いました。

御講師は本願寺派布教使・江津市西楽寺住職・的場利香先生でした。「みほとけにいだかれて死生ともにわざらいなし」とテーマとした御法話をお聴聞いた



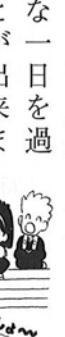
一日一日を大切にしなけれ

私達の心ばかりのおもてなしをして、レジュメの中に坊守様や役員の皆さんと数日かけて作つたじみのストラップを入れさせていただきました。手にされた方達に喜んでいただき、帰り際に御礼のお声がけをしてもらいました。嬉しく思い、安堵いたしました。

又、仏事役員の方々にも朝から準備、駐車場係としてお手伝いをし

合掌

五つの違う学校の子供たちが、有意義な一日を過すことが出来ました。正應寺の皆様、有難うございました。



- 対抗戦ゲーム
- 外へ出て遊具で遊ぶ
- おやつ・紙芝居
- 閉会式・解散
- 昼食

(マグカップに絵を描こう)

- 受付・オリエンテイーション
- お勤め（らいはいのうた）
- 正應寺住職挨拶
- ご法話（阿弥陀様のお話）
- 三つのやくそく
- 移動

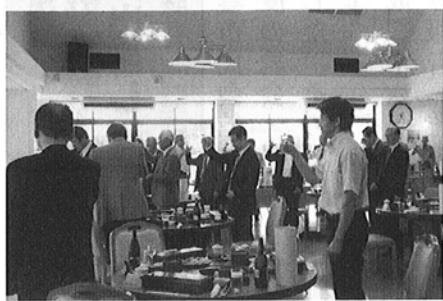
子供二十五人・大人・OB十三人
合計三十八人の参加者でした。内容
は、左記のとおりです。

神門組サマースクール

本年度のサマースクールは稗原町正應寺・稗原交流センターを会場に八月十八日に開催いたしました。

神門組総代会報告

知西寺 住職 窪田 隆道



二〇一五(平成二十七)年六月十五日(月曜日)午後三時から神門組総代会研修会が開催されました。会場は島根ワイナリーで、北部ブロック担当にて開催されました。講師は山陰教区布教団副団長、本願寺派布教使で乗光寺ご住職の北島清秀師で、参加人数は研修会が七十九名、懇親会が七十一名でした。

開会式では、藤野昭信組長より、宗門はこの六月から「宗門総合振興計画」を掲げ、今後十年間の新たな長期計画に取り組み始めたことをご説明頂きました。宗門総合振興計画は、基本理念に宗制の「あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もつて自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献すること」を使命とし、基本方針に「I. 仏教の精神に基づく社会への貢献の実践」「II. 自他共に心豊かに生きる生活の実践」「III. 宗門の基盤づくり」を掲げています。

ご講師からは、「伝灯奉告法要についてのご消息をいただいて」と題し、ご消息とは「ご門主さまから私たちに向けられた手紙・メッセージである」と分かりやすくご法話を頂きました。宗門総合振興計画は、ご門主からの私たちに対するメッセージを具現化するための手段であり、丁寧に取り組んでいくべきものであると感じました。十年計画「宗門総合振興計画」がスタートしたタイミングでの今回のご法話は、総代のみならず僧侶にとつても、とても意義のあるものであります。門徒総代の方のご理解が深まり、今後の積極的なご協力が期待できる有意義な研修会になりました。

懇親会では、島根ワイナリーのお計らいで、全面貸切りとして頂き、広い会場の中で、平素同じ悩みを抱える門徒総代方や住職方が、杯を傾けながら今後の寺院の護持運営について胸襟を開いて語り合い、意義深いひと時を共に過ごすことが出来ました。

合掌

報恩講のご案内

中 央 部			
今 市	明顕寺	10月17日・18日	2時より
塩 冶	長楽寺	10月22日・23日	2時より
白 枝	願楽寺	10月26日・27日	2時より
大 津	光明寺	休 座	住職継続法要のため
下古志	正蓮寺	11月 5日・ 6日	2時より
今 市	西楽寺	11月 7日・ 8日	2時より
矢 野	長泉寺	11月16日・17日	2時より
白 枝	真宗寺	11月24日・25日	1時30分より

西 部			
神 門	浄眼寺	10月 4日	2時より
大 池	慶正寺	11月 3日	2時より
奥 田 儀	能正寺	11月 8日	1時30分より
口 田 儀	清龍寺	11月15日	1時30分より
差 海	観音寺	11月19日	2時より
江 南	西蓮寺	11月23日	2時より
久 村	西楽寺	11月29日	2時より
神 門	願勝寺	11月29日	2時より

東 部			
上 津	善福寺	11月13日	1時30分より・7時30分より
上 津	西円寺	11月17日・18日	1時30分より
所 原	東林寺	11月20日	2時より
稗 原	正応寺	11月23日	1時30分より
船 津	正善寺	11月24日・25日	24日・2時より 25日・10時より
所 原	西念寺	平成28年4月16日 17日	1時30分より

南 部			
山 口	西善寺	10月31日	1時より
山 口	光林寺	11月23日	1時より
窪 田	明円寺	11月23日	1時30分より
窪 田	明教寺	12月 6日	1時30分より

北 部			
荒 木	明源寺	10月11日	1時30分より
荒 木	知西寺	11月 1日	1時30分より
大 社	乗光寺	11月27日・28日	27日・2時より、6時30分より 28日・10時より、1時より
大 社	願立寺	11月28日・29日	28日・7時30分より 29日・10時より、1時より

おさそいあわせ

お参りください